

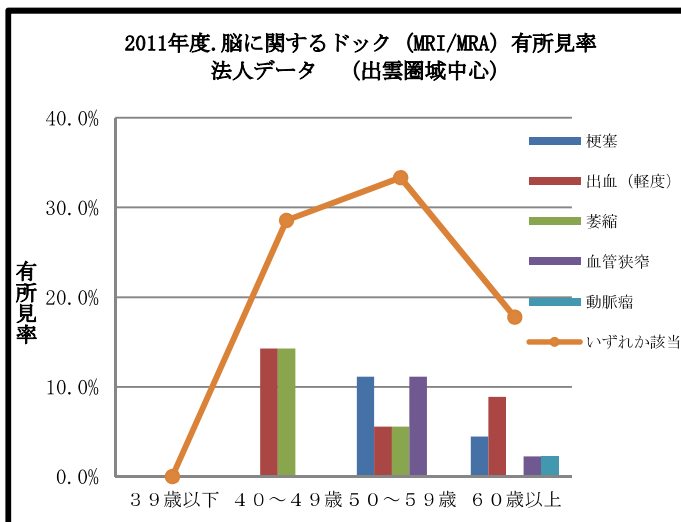
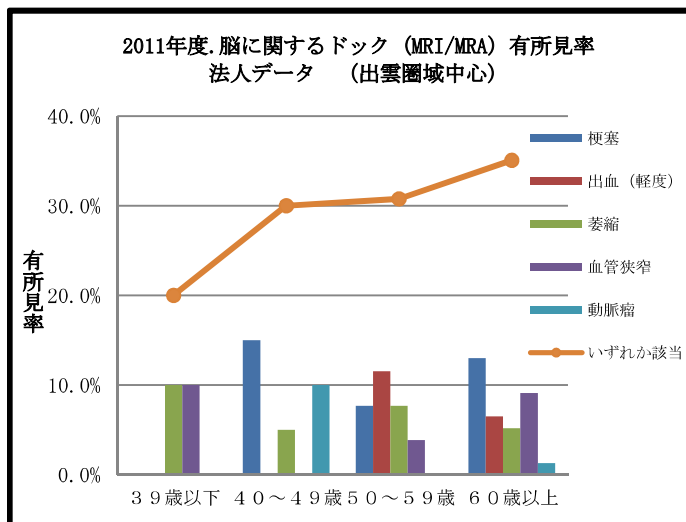
3. 脳に関するドックMRI/MRA 有所見者状況 ～2011年度結果～

以下のデータは、当法人における脳に関するドック（アンジェージング脳ドック、全身ドック、脳ドック）の受診状況である。2011（H.23）年度の脳に関するドックの受診者数は、男133人、女73人、合計206人であった。

年齢	性別	受診者数	梗塞	有所見率	出血 (軽度)	有所見率	萎縮	有所見率	血管狭窄	有所見率	動脈瘤	有所見率	いずれか該当 (合計)	有所見率
39歳以下	男	10					1	10.0%	1	10.0%			2	20.0%
	女	3												
40～49歳	男	20	3	15.0%			1	5.0%			2	10.0%	6	30.0%
	女	7			1	14.3%	1	14.3%					2	28.6%
50～59歳	男	26	2	7.7%	3	11.5%	2	7.7%	1	3.8%			8	30.8%
	女	18	2	11.1%	1	5.6%	1	5.6%	2	11.1%			6	33.3%
60歳以上	男	77	10	13.0%	5	6.5%	4	5.2%	7	9.1%	1	1.3%	27	35.1%
	女	45	2	4.4%	4	8.9%			1	2.2%	1	2.2%	8	17.8%
合計	男	133	15	11.3%	8	6.0%	8	6.0%	9	6.8%	3	2.3%	43	32.3%
	女	73	4	5.5%	6	8.2%	2	2.7%	3	4.1%	1	1.4%	16	21.9%
		206	19	9.2%	14	6.8%	10	4.9%	12	5.8%	4	1.9%	59	28.6%

男

女



①脳ドックで発見される主な病変としては、「脳ドックのガイドライン2008」（日本脳ドック学会）によれば、無症候性脳病変（無症候性脳梗塞、白質病変）、無症候性脳出血、無症候性頸部・脳主幹動脈狭窄・閉塞（以下、血管狭窄と略す）、無症候性未破裂脳動脈瘤などとされている。

②2011年度の当法人のデータでは、無症候性脳病変のうち、無症候性脳梗塞については全体の9.2%、無症候性脳出血は全体の6.8%、血管狭窄は全体の5.8%、無症候性未破裂脳動脈瘤は全体の1.9%に認められた。今回調査した脳ドックに関するMRI/MRAの全体の受診者数は206名（内、有所見者数が59名）と比較的少数であったため、年齢層や性別などによる傾向分析を行うには至らなかった。